



屋久島国立公園だより

2009.2.1

環境省屋久島自然保護官事務所 (屋久島世界遺産センター内)

〒891-4311 屋久島町安房前岳 2739-343 TEL:46-2992, FAX:46-2977

E-mail: RO-YAKUSHIMA@env.go.jp

2008年の屋久島山岳部登山者数は？

屋久島自然保護官事務所では、赤外線センサーで登山者の数を数える機器(登山者カウンター)を縄文杉、宮之浦岳方面に向かう登山道に設置して、国立公園の適正な利用のあり方を検討する材料としています。この程 2008年の登山者数合計がまとまりました。なんと、縄文杉・宮之浦岳方面の合計入山者数は 109,099人!!! ()

2007年が83,043人、2006年が78,518人なので、昨年がいかに多かったかがわかります。

内訳を見ますと、宮之浦岳方面の登山者数はそれほど大きく変化していないのですが、

縄文杉方面は、

2008年が92,609人、

2007年が68,204人、

2006年が63,237人と、

ここ3年間だけを見ても、大きく伸びています。

屋久島の素晴らしい自然を多くの人々に堪能してもらうことは非常に嬉しいことですが、一方で

過剰な利用は、自然環境に負荷を与え、自然の素敵な雰囲気を変化させてしまうことがあります。

そのような中、そこを訪れる方々が気持ちよく過ごせるように、そして何より自然を壊さないように、“ちょうどいい利用人数を決めていこう”という検討が、来年度いよいよ始まろうとしています。

その動きはこの国立公園だよりでもお知らせしていきたいと思っております。

詳細なデータについては霧島屋久国立公園HP(<http://www.env.go.jp/park/kirishima/data/index.html>)をご参照ください。

永田浜ウミガメ観察地域ルール策定の検討を開始します

永田浜は、北太平洋一のアカウミガメの上陸・産卵を誇り、アカウミガメの生活史上重要な地域ということでラムサール条約に登録されている浜です。毎年5月～7月には親ガメの上陸・産卵が、8月～9月には孵化した子ガメを観察することができますが、近年観察者も増え、ウミガメへの悪影響が懸念されるとともに、ウミガメの観察にあたってのトラブル・苦情が少なくありません。そこで観察会・監視・調査等で永田浜にかかわる地域関係者、



研究者、関係行政機関が集まって「永田浜の統一された地域ルール」を検討する検討会が2月中旬から始まります。来シーズンのウミガメが安心して上陸・産卵できるよう、いいルールを作りたいです。

「自然に親しむ集い」

西部林道周辺観察会のご案内

平成21年3月7日(土)

共催：九州地方環境事務所、(財)屋久島環境文化財団、屋久島町

今回は、西部林道周辺を散策しながら、照葉樹林帯の動植物の観察を行います。講師は、屋久島野外活動総合センター(YNAC)の小原 比呂志さんです。

1. 実施場所

県道永田栗生線道路(通称：西部林道)

2. 集合場所

(1) 屋久島世界遺産センター前 8時30分

(2) 屋久島離島開発総合センター前 9時00分

3. 解散場所

(1) 屋久島離島開発総合センター前 15時50分

(2) 屋久島世界遺産センター前 16時30分

4. 応募方法

2月23日(月)3月4日(水)の間に、電話、メール、ファックスにて、屋久島自然保護官事務所までご応募下さい。メール・ファックスの場合は、必ず住所・氏名・自宅の電話番号をご記入下さい。

なお、応募は“先着順”とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

5. 募集人数

20名、参加資格は、小学5年生以上とします。(ただし、保護者の責任の下であれば小学4年生以下でも可)

6. 参加料(保険料)

1人300円。なお、ご家族で参加される場合は、2人目から1人100円とします。

7. 服装、持ち物など

活動しやすい服装、運動靴、帽子、合羽、タオル、弁当、水筒、筆記用具等

8. その他

悪天候等のため中止する場合は、「当日7時までに」電話連絡します。

「自然に親しむ集い」のお知らせは、屋久島町のご協力により配布されています。

